

防災情報の伝達経路と情報の入手方法

防災情報の伝達方法を確認し、正確な情報を自ら収集して活用しましょう！

情報の伝達方法	情報の特徴	情報の入手
テレビラジオ 地上デジタル放送 (dボタン) ケーブルテレビ AM・FMラジオ	防災情報を一番入手しやすい手段 です。 「dボタン」 で最新の情報を確認しましょう。	視聴
インターネット 気象庁・松山地方気象台ホームページ 国土交通省「川の防災情報」 愛媛県河川・砂防情報システム 八幡浜市ホームページ	PC、スマートフォンを持っていない人は、 隣近所でお持ちの方から防災情報を得られるようにしておきましょう	アクセス
防災メール 防災SNS 愛媛県防災メール えひめ河川メール 八幡浜市防災メール 八幡浜市防災SNS 緊急速報メール (登録不要)	携帯電話やスマートフォンに登録しておくと、 防災情報が発表・発令されると自動配信され、入手することができます。	登録 自動配信
防災行政無線 音声自動応答サービス (電話) 呼びかけ (巡回・屋外スピーカー・戸別受信機)	豪雨時は放送内容が聞こえづらくなるため、戸別受信機を全戸配布していますが電話でも確認できます。 (下表右上参照)	電話 巡回・放送
消防署・消防団 広報車 (八幡浜市) 自主防災会	雨の降り始めは巡回の呼びかけが聞こえますが、雨が激しくなると、 雨や風の音等で次第に巡回の呼びかけが聞こえづらくなります。	巡回

市民の皆さん

防災情報の入手方法を確認しましょう！

愛媛県、八幡浜市の防災メールや防災SNSに登録すると、情報を入手できます。

テレビ (地上デジタル放送) のリモコンで「dボタン」を押し、「防災・生活情報」を選択すると情報を入手できます。

インターネットの場合は、情報の入手先 (川の防災情報等) をキーワード検索してください。



防災メール・SNS等の登録先

愛媛県防災メール ● 防災情報や緊急速報を配信 bousai.ehime-pref@ehime-pref.ktaiwork.jp	えひめ河川メール ● 雨量や河川の水位情報を配信 http://www.kasenalarm.pref.ehime.jp	八幡浜市防災行政無線 ● (音声自動応答サービス) ● 防災行政無線の放送内容を確認 (電話番号) 0894-22-5270 ※有料
八幡浜市防災メール ● 八幡浜市で発表された防災情報を配信 bousai.yawahama@raidan.ktaiwork.jp	八幡浜市防災SNS ● 緊急時の災害情報等を配信	松山地方気象台ホームページ http://www.jma-net.go.jp/matsuyama/ 国土交通省「川の防災情報」 http://www.river.go.jp/kawabou/ipTop/Gaikyo.do 愛媛県河川・砂防情報システム https://www.pref.ehime.jp/kasen/Default.htm
docomo災害用キット ● NTTドコモの災害関連サービス (エリアメール) を利用できるアプリ (アプリサイトからダウンロード)	au災害対策 ● auの災害関連サービス (緊急速報等) を操作できるアプリ (アプリサイトからダウンロード)	Yahoo! 防災速報 ● 緊急地震速報や豪雨予報、避難情報等をいち早く知らせるアプリ http://emg.yahoo.co.jp/

※QRコードを携帯電話等で読み込んで登録してください。

避難行動について

避難の種類

避難とは、『難』を『避』けることです。つまり、安全な場所にいる人は避難所に行く必要はないということです。避難には主に4つの行動が考えられます。

市が指定した避難場所への立退き避難

災害の状況に応じて、地域ごとに指定避難所が開設されますので、市のホームページなどで確認しましょう。

安全な親戚・知人宅への立退き避難

安全な地域の親戚・友人宅に避難することも一つの選択肢となります。普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

安全なホテル・旅館への立退き避難

ホテルや旅館などへの避難については、通常の宿泊料が必要です。また避難する前に予約・確認をしましょう。



屋内安全確保 (垂直避難)

浸水深より居室が高いマンションなど。但し、水がひくまで我慢できるように、十分な水・食料などを備えておきましょう。



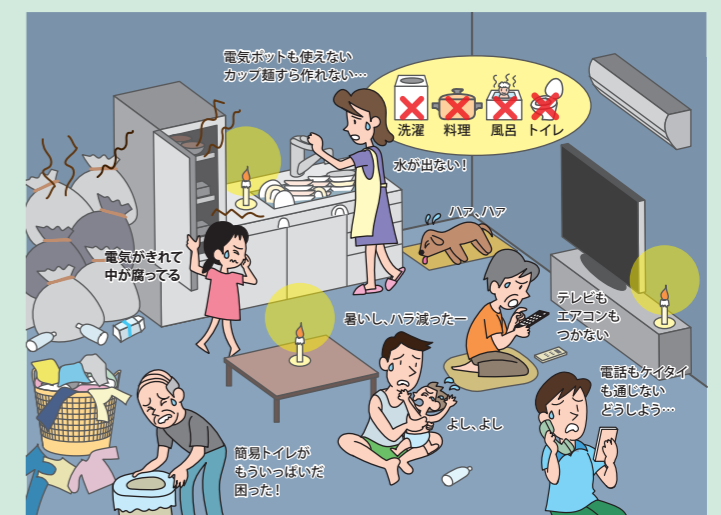
別の洪水ハザードマップには、「早期の立退き避難が必要な区域」を示しています。家屋が倒壊するおそれや1階が水没するおそれのある区域です。内水ハザードマップと併せて確認しましょう。

浸水が長引く場合について

浸水が発生してから、水が引くまでの時間は、降雨量や地形などによって異なります。浸水が長引いた場合では、ライフラインが絶たれることなどにより避難生活が困難となるおそれがあります。

浸水が長引く場合…

- 浸水深が深い場合には、家から外へ出られない
- 備蓄していても水や食料等がなくなる
- 衛生環境が悪化する
- 病人が出た場合に対応が難しい



浸水によって孤立が長期化した場合、生活環境の悪化が想定されます。